

学生・教職員の皆さんへ

八戸工業大学 学長 坂本 禎智

### 教育・研究活動における生成系 AI\*の利用について

人工知能（AI）を使った生成系 AI は急速に進化を遂げており、ChatGPT に代表される生成系 AI をすでに試してみたり、積極的に使用したりしている方も多いでしょう。生成系 AI は、さまざまな分野での活用が期待されていますが、収集された膨大なデータの扱い等がブラックボックス（例えば、学習データや内部構造が不明）となっているため、導入への懸念も指摘されています。まずは、以下に生成系 AI が抱える問題点を示します。

- ・非常に優れた自然言語処理技術で作られた大規模言語モデル\*\*を利用することによって、ChatGPT 等は入力された文章に対して確率的に「もっともらしい」回答を生成します。このため、不正確あるいは不適切な文章が生成されることがあります。
- ・個人情報等の情報を入力した場合、意図せず流出し、プライバシーの問題が生じることがあります。
- ・AI が生成した文章や画像等を利用した結果、著作権や肖像権等の侵害の問題に巻き込まれる可能性があります。

本学としては、学生の皆さんが自ら学び、表現する場を重視し、その成長に資するよう、このような生成系 AI の利用を一律に禁止するのではなく、むしろ適切に利用していきたいと考えています。ここで、学校法人八戸工業大学の建学の精神「正己以格物」および本学の教育理念「良き技術は、良き人格から生まれる」を思い出してください。これらは技術を正しく用い、高い倫理性を持って行動することの大切さを説いています。例えば生成系 AI が出力したレポートやプログラム等を、何ら検証や内容の精査なく成果物とすることは、学生あるいは技術者（職業人）として相応しい振る舞いでしょうか？

生成系 AI の利用については、学生の将来の成長に繋がる教育であることを深く意識し、良識と正しい倫理観に基づき活用していただくことが重要と考えています。そこで本学では「教育・研究活動における生成系 AI の利用に関するガイドライン」を作成しました。今後ともその利用方法や諸課題への対応等について、国の動向等も参考にしながら、学内で検討する機会を設け、必要に応じて改正する予定です。

※生成系 AI：大量のデータを学習して新しい文章やコンテンツを生成できる AI システム

※※大規模言語モデル：大量のテキストデータを使って学習された自然言語処理用の AI

---

## 八戸工業大学 教育・研究活動における生成系 AI の利用に関するガイドライン

### 1. 目的

本ガイドラインは、生成系 AI を本学での教育・研究活動に使用する場合の留意事項を示しています。

### 2. 使用範囲

授業における生成系 AI の利用は、原則として担当教員の指示・許可がある場合とします。使用範囲については、担当教員の指示に従ってください。担当教員からの指示が特でない場合で、生成系 AI の利用を希望する時は、事前に担当教員へ相談してください。一方、研究を含めた諸活動においても、次節以降に記す注意等を遵守する限り、検索・翻訳用途、文章校正、マニュアル類・FAQ の作成、アイデア提案、資料の要約の作成等により作業の効率化が期待できます。

### 3. 資料の参照

生成系 AI は一般的な情報やアドバイスを提供するためのものであり、レポート・論文等を作成する上での正確性や信頼性が求められる場合には限界があります。したがって、生成系 AI の出力した情報を裏付けるためには、正確で信頼性の高い情報源を確認することが重要です。また、課題の内容や分野によっては、専門家のアドバイスを求め、専門的な文献を参照したり、出典を明示したりすることが必要になる場合もあります。生成系 AI はあくまでも補助的なツールとして活用することが望まれます。生成系 AI を利用した場合には、その出力を利用した部分について明記してください。

### 4. 個人情報・著作権保護

生成系 AI を使用する場合は、プライバシーや機密に関わる情報を入力してはいけません。また、AI が生成した成果物を公開した結果、他者の著作権等の侵害に当たる場合があります。公開する場合は成果物が既存の著作物との同一・類似やその出典について確認したりするとともに、制作者が手を加える場合には創造性が及んだ部分について説明できるようにするなど、著作権保護に留意してください。課題等の場合は、担当教員の指示に従ってください。

### 5. 授業における成績評価の方法

授業において生成系 AI を使用して得られた情報に基づいて課題が実施される場合、その成績評価の方法は担当教員により示され、学生が適切に課題に取り組めるよう指導します。

### 6. 利用許諾条件の遵守と倫理

生成系 AI を使用する場合は、そのサービス、データ、成果物等、それぞれの利用許諾条件を遵守し、良識と正しい倫理観に基づき活用してください。

### 7. ガイドラインの改正

生成系 AI は発展途上の技術であり、教育や学術の発展に対して具体的にどのように生成系 AI

令和5年5月25日

を利用していくのかについては、さらに検討が必要です。その検討結果を踏まえ、本ガイドラインも適宜改正します。生成系 AI 利用の際は、常に最新のガイドラインを参照してください。